

都市の緑3表彰 受賞者決定

「第37回緑の都市賞」「第28回緑の環境プラン大賞」「第16回屋上・壁面緑化技術コンクール」

緑豊かなまちづくりに貢献する市民団体、企業等を表彰します

(公財)都市緑化機構では、人々の暮らしに潤いと安らぎを与え、地球温暖化の抑制や生物多様性の保全に寄与する都市の緑地保全と緑化推進の普及啓発を目的とした3つの表彰事業「都市の緑3表彰」を実施しております。このたび、厳正な審査の結果、内閣総理大臣賞をはじめとする各賞の受賞者を決定いたしました。

2017年12月4日に明治記念館(東京都港区)において表彰式を行います。

第37回緑の都市賞 《内閣総理大臣賞、国土交通大臣賞他》

1981(昭和56)年に創設。緑豊かな都市づくりの推進を目的に、みどりを用いた環境の改善、景観の向上、地域社会の活性化等に先進的かつ意欲的に取り組み、良好な成果を挙げている市民団体、企業、地方公共団体等を表彰します。(P2-P4)

第28回緑の環境プラン大賞 《国土交通大臣賞、おもてなしの庭大賞他》

1990(平成2)年に創設。同年に開催された「国際花と緑の博覧会」の理念を踏まえ、緑豊かな都市環境で育まれる人と自然とのふれあいやコミュニティの醸成等の実現に資する緑化プランについて、優秀作を表彰するとともに、そのプランの実現のための助成を行います。(P5-P7)

第16回 屋上・壁面緑化技術コンクール 《国土交通大臣賞、環境大臣賞他》

2002(平成14)年に創設。都市環境の改善と豊かな都市生活の実現を目的として、これまで緑化が困難とされてきた屋上、壁面等の特殊空間の緑化に積極的に取り組み、優れた成果をあげている民間企業、地方公共団体、個人等を表彰します。(P8-P10)

主催 (公財)都市緑化機構：会長 矢野龍 東京都千代田区神田神保町 3-2-4
(一財)第一生命財団：理事長 森田富治郎 東京都千代田区平河町 1-2-10 ※
※ 緑の環境プラン大賞主催

特別協賛 第一生命保険株式会社：代表取締役社長 稲垣精二 東京都千代田区有楽町 1-13-1

問合せ先 公益財団法人都市緑化機構 「都市の緑3表彰」担当 上野,益永,小松,菊池
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-2-4 田村ビル 2階
TEL:03-5216-7191 FAX:03-5216-7195 Email: midori.info@urbangreen.or.jp
URL: <http://urbangreen.or.jp/>

第37回 緑の都市賞 受賞団体

応募総数49件、第一次審査会：平成29年9月5日、第二次審査会9月27日

◎内閣総理大臣賞 [1点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
緑のまちづくり部門	鎌倉市緑の基本計画推進の取り組み (神奈川県鎌倉市)	鎌倉市	全国に先駆けて策定した緑の基本計画に基づき、法に基づく緑地保全制度の活用や、独自の財源確保の工夫、市民・企業と連携した啓発活動等の充実した施策を永年に渡り展開し、古都鎌倉の歴史的風土を構成する緑地や歴史遺産を着実に保全している。	

◎国土交通大臣賞 [3点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	あすかオーナー制度～棚田オーナー、うまし酒オーナー～ (奈良県明日香村)	特定非営利活動法人 明日香の未来を創る会 大字 阪田	古都保存法に基づき公有地化した棚田等を活用してオーナー制度を立ち上げ、都会との交流を通じた集落の活性化に取り組み、地域固有の景観と文化の保全、及び地域資源に対する村民の意識向上を図っている。	
緑の事業活動部門	サンデンフォレスト赤城事業所における緑の保全活動 (群馬県前橋市)	サンデンホールディングス株式会社	工場敷地において、ビオトープ池、オオムラサキ、ホタル、夜蚕の再生等、現在では多くの企業が取り組んでいる多様な技術、工法を用い、時間をかけて自然再生に取り組んでいる。	
緑の事業活動部門	品川シーズンテラス (東京都港区)	NTT都市開発株式会社 品川シーズンテラスビルマネジメント株式会社 大成建設株式会社 一級建築士事務所 株式会社NTTファシリティーズ	東京都が管理する下水処理施設上において、人工地盤を構築し、3.5haに及ぶ緑地を創出。この広大な緑地が、風の道として都心に冷気を導くとともに、地域住民やオフィスワーカーにとっての寛ぎと憩いの場として活用されている。	

◎都市緑化機構会長賞 [3点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	日比谷公園 ガーデニングショーの 14年にわたる開催 (東京都千代田区)	日比谷公園 ガーデニングショー 実行委員会	2003年、日比谷公園開園100周年を契機にスタートした事業で、花と緑、環境・緑化団体の関係者がボランティアで企画・運営で手作りのイベントを継続している。	
緑の市民協働部門	地域総参加による 「水の都・三島」の 「緑と水のネットワーク」創造 (静岡県三島市)	特定非営利活動法人 グラウンドワーク 三島	緑と水の生物多様性にあふれた水辺の自然環境を創出し、三島の原風景・原自然の再生・復活に取り組む。また、環境教育の場として次世代の守り人を育成している。	
緑の事業活動部門	東京ガーデンテラス 紀尾井町 (東京都千代田区)	株式会社西武 プロパティーズ 株式会社 プレイスメディア 株式会社 日建設計	名門ホテル跡地に、タワー棟と旧李王家邸により構成された施設。お濠沿いの桜や大径木の保全、隣地の清水谷公園との連携など都心の貴重な自然資源となっている。	

◎奨励賞 [4点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	菩提樹池周辺緑地 保全活動 (埼玉県所沢市)	菩提樹田んぼの会 山口の自然に 親しむ会 菩提樹池愛好会	多様な植物・生物が棲む環境を次世代に引き継ぐため、3つの会が協力して活動。地域で結んだ「菩提樹池と周辺の緑を守る協定」をもとに、保全活動を進めている。	
緑の市民協働部門	「下田の杜」の 保全活動 (千葉県柏市)	下田の杜里山 協議会	地権者、市民、柏市の協議による結果、開発から守られた杜の管理活動を続けながら、「下田の杜里山憲章」を定めその理念を次世代に残す普及啓発を進めている。	
緑のまちづくり部門	朝霞市 (埼玉県朝霞市)	朝霞市	武蔵野の風景の面影を残す市内の緑と水辺の保全や、緑化の推進に取り組みながら、市の特徴である斜面林や湧水、黒目川の保全と活用に取り組む。	
緑のまちづくり部門	東京都狛江市: 狛江版CSA (東京都狛江市)	狛江版CSA 発足準備協議会 狛江市 鹿島建設株式会社 環境本部	都市農地が抱える様々な課題を解決するため地域コミュニティに支えられた農業手法を取り入れ、多様な主体が連携した取り組みを展開している。	

第 37 回 緑の都市賞 概要

■ 目的

明日の緑豊かな都市づくり・まちづくりを目指し、樹木や花などの「みどり」を用いた環境の改善、景観の向上、緑のリサイクル等に取り組み、緑あふれる施設づくり、街並みづくりに卓越した成果を上げている市民活動団体及び企業等、並びに都市の緑の保全や緑化の推進にあたり個性的な施策に取り組み、顕著な成果を上げている公共団体を顕彰し、緑豊かなまちづくりの普及と実現を目指すものです。

■ 募集の対象

緑の市民協働部門	応募資格：主に市民団体 ボランティアを基本とした緑化活動で、地域の社会や環境へ貢献するもの
緑の事業活動部門	応募資格：主に民間事業者 ・民間、公共を問わず都市の緑の保全や創出を事業活動またはその一環として取り組んでいるもの ・NPO 法人等でも、公園の指定管理者など活動の大半を委託事業として取り組んでいるものも含む ・学校や病院等で、業者委託として緑地の整備や管理を行っているものも含む
緑のまちづくり部門	応募資格：主に市区町村 都市全般の緑化に取り組み、その成果をあげているもので、地域の個性を活かした緑化を展開しているもの

■ 表彰

内閣総理大臣賞	1 点 [副賞20万円 (活動助成金)]
国土交通大臣賞	3 点以内 [副賞15万円 (活動助成金)]
都市緑化機構会長賞	3 点以内 [副賞 10 万円 (活動助成金)]
奨励賞	若干 [副賞 5万円 (活動助成金)]

※副賞の活動助成金は「緑の市民協働部門」の受賞団体のみを対象。

■ スケジュール

募集期間 2017年4月1日～6月30日 入選発表 2017年10月17日
審査会 一次：2017年9月5日 二次：9月27日 表彰式 2017年12月4日於：明治記念館

■ 審査委員

委員長 樺山 紘一 印刷博物館館長
委員 池邊 このみ 千葉大学大学院園芸学研究科教授
石川 幹子 中央大学理工学部人間総合理工学科教授
井上 洋 一般社団法人日本経済団体連合会政治・社会本部参事
栗田 卓也 国土交通省都市局長
陣内 秀信 法政大学 デザイン工学部建築学科教授
野口 智子 ゆとり研究所所長
涌井 史郎 東京都市大学環境情報学部環境情報学科教授
武富 正夫 第一生命保険株式会社取締役常務執行役員
宮下 和正 公益財団法人都市緑化機構専務理事

■ 主催等

主 催：公益財団法人都市緑化機構
後 援：国土交通省，総務省，環境省，全国知事会，全国市長会，全国町村会
特別協賛：第一生命保険株式会社
協 賛：日本商工会議所，公益社団法人日本青年会議所，一般社団法人日本公園緑地協会，
一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会，一般財団法人公園財団，
一般財団法人日本造園修景協会，一般財団法人日本緑化センター，
公益財団法人河川財団，一般社団法人日本建設業連合会

第28回 緑の環境プラン大賞 受賞団体

応募総数54件、審査会：平成29年9月25日

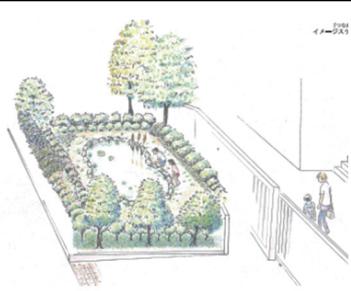
◎国土交通大臣賞 [2点]

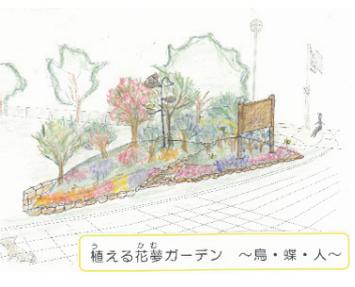
部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	みらいおもいけ グリーンガーデン プラン (兵庫県神戸市)	社会福祉法人 みらい みらいおもいけ園	かつてグラウンドとして使われていた施設の園庭を、果樹園・菜園として活用し、加工品を含めた果物や野菜の生産・販売を事業所の作業の一環として行い、地域との交流に役立つガーデンづくりを目指す。	
ポケット・ガーデン	大泉学園町7丁目 『もみじの庭』みどり と笑顔をおすそ分け するポケットガーデン (東京都練馬区)	学園町ちやい旅・ ガーデンプロジェクト	これまでのオープンガーデンの活動を、日常的に継続した取組にしようとするグループを立ち上げ、活動拠点として、個人邸の庭の一部を地域に開くコミュニティガーデンとして整備し、地域のお休み処や催しを行える場として育てていく。	

◎緑化大賞 [2点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	『花と緑の力で！ つながりの庭』 プロジェクト (宮城県石巻市)	一般社団法人 雄勝花物語	震災で亡くなった方の供養と故郷を失った住民の交流を目的として、ボランティアの手で作りに上げてきたローズガーデンが、復興まちづくり計画のなかで移転を余儀なくされた。その移転先でのガーデンづくりのプラン。	
シンボル・ガーデン	矢崎橋やすらぎ処 (東京都日野市)	豊田矢崎橋やすらぎ 処プロジェクト	長期に渡る区画整理事業のなかで事業管理地として封鎖されてきた公園予定地を、住民発意により「やすらぎ処」とし有効活用しようとするもの。豊かな湧水など、地域の環境・文化資源を活かした、地域で育てる庭づくりを目指す。	

◎コミュニティ大賞 [9 点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
ポケット・ガーデン	保育園発、地域の「つながる庭 (ビオガーデン)」 (東京都江戸川区)	株式会社ポピンズ ポピンズナーサリー スクール中葛西	在来種や自生植物、池に棲むたくさんの生命に触れる場所を提供することで、園児が自然とのつながりを学び、庭に立ち寄る地域のお子様・お年寄りがつながり、この庭に生きる生命を未来につなげていくことで、保育園発の「つながる庭」を目指す。	
ポケット・ガーデン	風そよぐ大地と小さな探検隊むさしんじょう第2保育園 (神奈川県川崎市)	株式会社 小学館集英社 プロダクション	ビオトープと竪穴式住居の環境整備を行う。芽吹きや生き物の様子など自然の存在を知り、四季の移り変わりを肌で感じ、生き物と触れ合う環境を作る。地域の方々も歴史と自然を感じ取れ、楽しめる場所でありたい。	
ポケット・ガーデン	ひなた村・香りと食のエディブルガーデン (滋賀県守山市)	特定非営利活動法人 子育て研究会	子供・障がい児達へ、自然教室など多様な体験の機会を提供する。数年前に自力建設したピザ窯に隣接する緑地を参加型活動で整備し、香りの草花、野菜などの有用植物を育て環境教育・食育に活かし、賑わいを感じる庭づくりを目指す。	
ポケット・ガーデン	ひろがれ！都会の小さなビオトープー多様な生きもの場をより多くの人々とともに (大阪府東大阪市)	社会福祉法人 どんぐり福祉会	子どもたちと一緒に守り育ててきたビオトープは、水が澄み、メダカもタニシもよく繁殖している。この水辺と一体化する立体的な緑化を行う。低年齢児も安全に生きものに親しむことのできる施設整備を目指す。	
ポケット・ガーデン	みんなで育てよう・ふれあいの庭に (大阪府豊中市)	豊中 みどりの交流会	ふれあい広場 SEED は、交流会活動を進めるための拠点となる大切な場所。高齢者や子ども達をはじめ若いお母さん方や青少年にとっても、訪れてみたいと感じるような魅力的な景観・環境づくりを目指す。	

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
ポケット・ガーデン	ミツバチを見ながら アフタヌーンティーを！ ～生きものに優しい ポケット・ガーデン～ (大阪府池田市)	大阪府立 園芸高校 ハニービー サイエンスクラブ	ミツバチの蜜源となる植物を集めた、小さなガーデンづくり。このガーデンをミツバチの為の庭「ハニービーガーデン」と名付け、新しいタイプのビオガーデンとして普及に取り組む。	
ポケット・ガーデン	植える花夢ガーデン ～鳥・蝶・人～ (兵庫県三木市)	フラワー マイスターみき	三木山総合公園の全面開園に際し、県内外からのお客様を迎える、賑わいや彩を演出した「おもてなし」の庭として花壇整備し、緑豊かな景観形成を図る。	
ポケット・ガーデン	雨水利用の リラックスビオトープ (広島県広島市)	広島市立 鈴が峰小学校	緑地にベンチの新設や樹木の植栽を行ったり、雨水を利用したエコなビオトープに改修したりすることで、子どもたちがより自然に親しみ豊かな情感を養うことができる環境とする。	
ポケット・ガーデン	緑陰で深まる コミュニティスポット の可能性 (大分県大分市)	社会福祉法人 新樹会 すくすく・いきいき村	複合的福祉施設の施設利用者及び地域の方々々が自由に利用できる庭づくり。小川周りに緑陰をつくることにより、屋外での活動をしやすくすると共に、生物の生息空間を充実させる。	

◎「おもてなしの庭」大賞 [1点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
特別 「おもてなしの庭」	東京音楽大学 中目黒・代官山 キャンパス 「みどりの鎌倉街道」 (東京都目黒区)	学校法人 東京音楽大学	「まちと協奏するみどりの中の音楽大学」をテーマに誕生するキャンパスの「おもてなしの庭」づくり。目黒川の桜との連続により、街と街を結ぶ「みどりの鎌倉街道」として現代に蘇らせる。この地の魅力を世界に発信し、国内外のお客様を呼び込み、文化芸術と緑でお客様をもてなす場づくりを目指す。	

第 28 回 緑の環境プラン大賞 の概要

■ 目的

全国から緑化プランを公募し、優れたプランを表彰するとともにその実現のために緑化工事助成を行うことで、緑豊かな環境の形成を図るとともに、生活の質の向上やコミュニティの醸成等を図るものです。また、東京都内を対象として「おもてなしの庭」プランを公募し、優れたプランを表彰・助成することで、花と緑で観光客を迎えるおもてなし空間の創出を図ります。

■ 募集の対象

シンボル・ガーデン部門	全国を対象	地域のシンボリックな緑地として、緑の持つヒートアイランド緩和効果、生物多様性保全効果等を取り入れることにより、人と自然が共生する都市環境の形成、および地域コミュニティの活性化に寄与するアイデアを盛り込んだ緑地のプランを募集します。
ポケット・ガーデン部門	全国を対象	日常的な花や緑の活動を通して、地域コミュニティの活性化や、保育園・幼稚園、学校等での情操教育、身近な環境の改善等に寄与するアイデアを盛り込んだ花や緑のプランを募集します。
特別企画 「おもてなしの庭」	東京都限定	2020年に向けた特別企画として、花と緑で観光客をお迎えする魅力ある緑の創出、およびその場所でのおもてなしの活動に関するアイデアを盛り込んだプランを東京都内限定で募集します。

■ 表彰

● シンボル・ガーデン部門

国土交通大臣賞	1点以内	副賞800万円以内（工事に対する助成金）
緑化大賞	2点以程	副賞800万円以内（工事に対する助成金）

● ポケット・ガーデン部門

国土交通大臣賞	1点以内	副賞100万円以内（工事に対する助成金）
コミュニティ大賞	9点程度	副賞100万円以内（工事に対する助成金）

● 「おもてなしの庭」プラン

おもてなしの庭大賞	1点	副賞2,020万円以内（工事及び活動に対する助成金）
-----------	----	----------------------------

■ 審査委員

委員長	進士 五十八	福井県立大学 学長 / 東京農業大学 名誉教授
委員	金子 忠一	東京農業大学 教授
	栗田 卓也	国土交通省 都市局長
	永山 妙子	マネジメントコンサルタント
	藤沢 久美	シンクタンク・ソフィアバンク 代表
	松本 肇	株式会社産業経済新聞社 取締役 営業・事業担当
	村上 暁信	筑波大学 システム情報系 教授
	稲垣 精二	第一生命保険株式会社 代表取締役社長
	小野 文夫	一般財団法人第一生命財団 常務理事
	宮下 和正	公益財団法人都市緑化機構 専務理事

■ スケジュール

募集期間	2017年4月1日～6月30日	入選発表	2017年10月17日
審査会	2017年9月25日	表彰式	2017年12月4日於：明治記念館

■ 主催等

主 催：公益財団法人都市緑化機構、一般財団法人第一生命財団
 後 援：国土交通省、環境省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、東京都（おもてなしの庭）
 特別協賛：第一生命保険株式会社
 協 賛：一般社団法人建設広報協会、一般社団法人日本公園緑地協会、
 一般社団法人日本造園建設業協会、都市緑化基金等連絡協議会
 協 力：株式会社フジテレビジョン、株式会社産業経済新聞社、株式会社ニッポン放送

第16回「屋上・壁面緑化技術コンクール」受賞団体

応募総数28件、審査委員会：平成29年9月7日

◎国土交通大臣賞 [2点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	西富久地区 第一種市街地 再開発事業 Tomihisa Cross (東京都新宿区)	富久クロス全体管理組合 西富久地区市街地再開発組合 株式会社久米設計 株式会社まちづくり研究所 戸田建設株式会社一級建築士事務所 株式会社 LPD 戸田建設・五洋建設 共同体 イビデングリーンテック株式会社	本作品の人工地盤上には、2つの広場、2～6階の中層棟、3・7階のペントハウスに植栽地、地下支柱を採用し、自重や風の揺れによって、沈まないような対策が施された高木によって、立体的な緑化、緑の丘を形成している。	
壁面・特殊緑化部門	豊洲フォレシア 壁面緑化 (東京都江東区)	株式会社 IHI 三菱地所株式会社 株式会社三菱地所設計 株式会社大林組 イビデングリーンテック株式会社	『Green Fall』というコンセプトの下、本作品は、「あふれ出す緑」を表現し、ダイナミックで清々しい緑あふれる街路空間を創出している。パネル寸法や植栽密度が調整できる緑化システムを採用し、初期完成度を高める工夫をしている。	

◎環境大臣賞 [2点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	大手町の森 (東京都千代田区)	東京建物株式会社 大成建設株式会社 内山緑地建設株式会社	本作品は、超高層建築の足元に広がる人工地盤上の緑地である。森の一部を原寸で、事前に別の場所で施工する取組み「プレフォレスト」、野生生物や植物のモニタリングを行い、森の成熟化に向けて、安定した生育が確認されている。	
壁面・特殊緑化部門	TRI-SEVEN ROPPONGI (東京都港区)	ペンブローク・リアルエステート・ジャパン・エルエルシー 株式会社愛植物設計事務所 株式会社竹中工務店 トータルガーデン株式会社 日本地工株式会社	本作品は、敷地裏側のビルの谷間に、ビルの顔となりうる魅力的な空間の創出と近隣の方々への緑豊かな空間の提供を目的に計画された。竣工後、事業者・植栽設計者・管理者による管理協働巡回、ゴンドラを用いた管理作業により、植物の状態に合わせた順応的管理を継続している。	

◎日本経済新聞社賞 [2点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	西武池袋本店 食と緑の空中庭園 (東京都豊島区)	株式会社そごう・西武 西武池袋本店 有限会社アースケイプ 株式会社竹中工務店 株式会社日比谷アメニス	本作品は、「空のほとりで逢いましょう。」をキャッチフレーズに、屋上全体がモネの絵画を抽象化したデザインとなっている。浮き床構造でつくられた「睡蓮の庭」は、春先と夏場で約30品種の睡蓮を楽しむことができる。	
壁面・特殊緑化部門	東急プラザ 銀座 KIRIKO TERRACE/ GREEN SIDE (東京都中央区)	東急不動産株式会社 株式会社日建設計 清水建設株式会社 株式会社石勝エクステリア	本作品は、銀座・数寄屋橋交差点に面した商業施設の屋上の壁面緑化である。壁面緑化全体で、色彩の多様性と季節の変化を演出し、地上約70mでも飛来の可能性があるチョウ類に誘致効果のある植物を織り交ぜ、生物多様性にも寄与している。	 © Koji Fujii / Nacasa&Partners Inc.

◎都市緑化機構会長賞 [4点]

部門	作品名/場所	受賞者名	概要	
壁面・特殊緑化部門	渋谷 MODI (エントランス部 ファサード環境デザイン) (東京都渋谷区)	古谷デザイン建築設計事務所 株式会社エイムクリエイツ 株式会社榎出版社 鹿島建設株式会社 株式会社クリアテラネットワーク 有限会社大綱ガーデン 株式会社ランドスケープハウス 株式会社 FABRO	本作品は、限られた敷地要件の中で商業建築としてのシンボル性等を念頭においた多重的な緑のファサードである。デジタルサイネージ広告と緑化の融合は、多種多様な人種やカルチャーが交錯する街並みに相応しい空間を形成している。	
壁面・特殊緑化部門	赤坂センタービルディング・ みどりの基壇 (東京都港区)	関電不動産開発株式会社 東京支社 株式会社日建設計 株式会社プランタゴ かたばみ興業株式会社 株式会社ゴバイミドリ	本作品は、地域の歴史や文化を象徴する緑豊かな地域に隣接して立地するオフィス・共同住宅による複合ビルの壁面緑化である。外観デザインにみどりを積極的に取り込み、石垣とは違うやわらかで、散策を楽しめる都市環境を生み出している。	
特定テーマ部門	あまねの杜 保育園 (千葉県船橋市)	相坂研介設計アトリエ	本作品は、船橋市郊外に建つ立体回遊型園舎の緑化である。屋上菜園では、さまざまな野菜を何種類も何毛作にて育て、収穫し、給食する食育に取り組んでいる。日常的に自然に触れることで自然への感謝や育てる喜びを育んでいる。	
特定テーマ部門	病院の屋上庭園の小さな リニューアル (東京都渋谷区)	エコ&ヒーリングランドスケープコンサル 株式会社エービーシー商会 有限会社テクノス企画 日本赤十字社医療センター	本作品は、築4年の総合病院6階の屋上庭園のリニューアルである。緑化コンテナとベンチ一体型のすだれ状の日除けを計画した。四季折々に花や香りの楽しめる樹木や草花、ハーブを病院職員とボランティアで植栽した。	

第16回 屋上・壁面緑化技術コンクール 概要

■目的

屋上等特殊空間の緑化について、意欲的に取り組み優れた成果をあげている民間企業、公共団体、個人等を顕彰することにより、屋上等特殊空間の緑化技術の一層の普及推進を図り、もって都市環境の改善を進め、豊かな都市生活の実現に寄与することを目的としています。

■応募対象

屋上緑化部門	建築物の屋上、屋根の緑化
壁面・特殊緑化部門	①建築物の壁面の緑化 ②土木構造物の壁面(高架道路壁面、擁壁等)の緑化 ③土木構造物の高架(道路・鉄道高架部分、橋等)上・下空間の緑化 ④屋内(アトリウム、室内、地下空間等)、ベランダの緑化 ⑤その他通常の方法では緑化が困難な空間の緑化
特定テーマ部門 「小規模空間の緑化」	屋上緑化部門、壁面・特殊緑化部門に準ずる、応募作品の面積が300㎡以下の緑化

・応募作品の完成時期：2016年3月31日までに完成したもの。

■表彰

表彰	表彰者	部門と表彰作品数	適用
国土交通大臣賞	国土交通大臣	3部門の中から2点	各部門において特に技術水準が高く、今後の都市緑化技術の模範となる最も優れた作品
環境大臣賞	環境大臣		
日本経済新聞社賞	日本経済新聞社		
都市緑化機構会長賞	都市緑化機構会長	各部門 2点以内	特に技術水準が高く、優れた作品

■スケジュール

募集期間 2017年4月1日～6月30日 入選発表 2017年10月17日
 審査委員会 2017年9月7日 表彰式 2017年12月4日於：明治記念館

■審査委員

委員長	山田 宏之	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科教授
委員	井上 洋	一般社団法人日本経済団体連合会社会・政治本部参事
	仙田 満	東京工業大学名誉教授、環境デザイン研究所会長
	塚田 市朗	一般財団法人日本建築センター常務理事
	吉川 圭子	環境省水・大気環境局大気環境課大気生活環境室室長
	古澤 達也	国土交通省都市局公園緑地・景観課緑地環境室長
	真部 保良	日経BP社日経BPアーキテクチュア編集委員
	森本 幸裕	京都学園大学バイオ環境学部バイオ環境デザイン学科教授
	山崎 誠子	日本大学短期大学部建築・生活デザイン学科准教授
	武富 正夫	第一生命保険株式会社取締役常務執行役員
	宮下 和正	公益財団法人都市緑化機構専務理事

■主催・後援等

- ・主催：公益財団法人都市緑化機構
- ・後援：国土交通省，環境省，東京都，日本経済新聞社
- ・特別協賛：第一生命保険株式会社
- ・協賛：住友林業株式会社，一般財団法人公園財団，公益財団法人都市計画協会，一般財団法人日本造園修景協会，一般財団法人日本緑化センター，一般社団法人日本公園緑地協会，一般社団法人日本造園建設業協会，一般社団法人日本公園施設業協会，一般社団法人日本建設業連合会，一般社団法人公共建築協会，一般社団法人不動産協会，一般社団法人日本造園組合連合会，一般社団法人日本植木協会，一般社団法人都市計画コンサルタント協会，公益社団法人日本造園学会，一般社団法人日本ビルディング協会連合会，一般社団法人日本建築学会，一般財団法人日本建築センター，一般財団法人日本宝くじ協会，一般財団法人民間都市開発推進機構，一般社団法人ランドスケープコンサルタント協会，一般社団法人ランドスケープアーキテクト連盟